

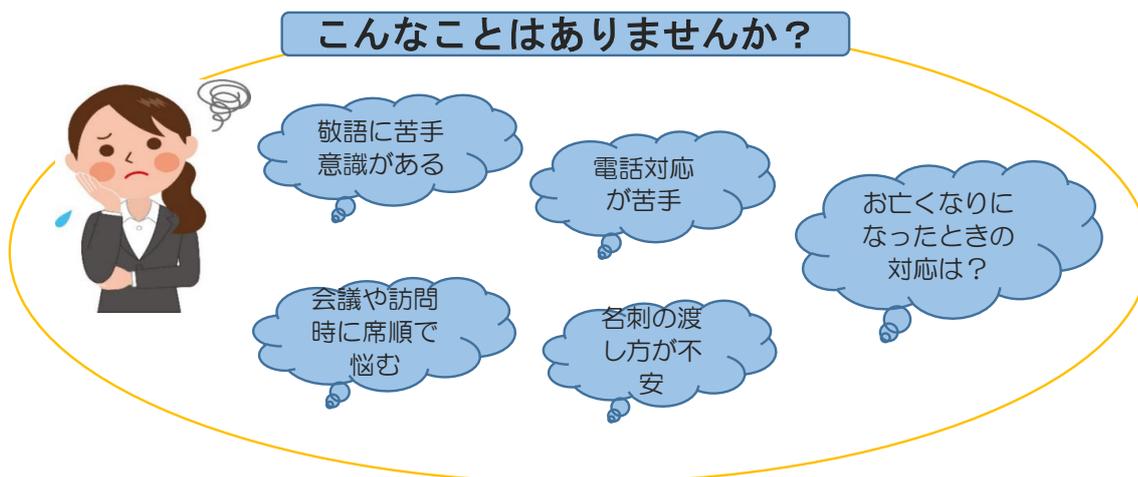
地域包括ケアシステムを学ぶ

コース名 ケアマネジャースキルアップ		
介護支援専門員 新任研修 ～知っておきたいケアマネジャーの月間業務～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 概ね1年以内に居宅介護支援事業所のケアマネジャーの仕事を始められた方 1年以上の経験があり、月間で行うべき業務の再確認や見直しをしたい方 		
★		
日程	時間	会場
調整中	9：30-12：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーの仕事を開始されたばかりの方は、「先輩職員も忙しそうで、わからないことをなかなか聞きづらい・・・」「今さら聞きにくいけど、他の人はどんなふうに業務を行っているのだろう」といったことはありませんか？ 一方、管理者の方も「3名の職員でまわしている事業所で自分の仕事も手一杯なため、新任職員に対してじっくり教えることができない・・・」「一人ケアマネの事業所のため、正しく業務を行っているかどうか不安な面もある」などといった話も聞かれます。 ケアマネジャーが行うべき1か月の業務やスケジュールを確認し、整理したうえで不安なく仕事ができるようにします。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 月間業務の確認 定期訪問、モニタリング、ショートステイ予約、新規利用者に対するマネジメントの流れ、要介護認定更新、サービス担当者会議、提供票発送、保護係への利用表提出、要介護認定申請、区分変更申請、実績確認業務 グループワーク 「月間業務やスケジュール管理について確認したいこと、疑問点などを話そう！」 <p>*他の受講生やファシリテーターと自由に意見交換しながら、ともに内容を共有します。</p>		
講師		
調整中		

コース名 ケアマネジャースキルアップ		
ケアマネジャーのためのリスクマネジメント ～在宅サービスの事故防止における役割～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャー 		
★		
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーの基本的な知識として知っておきたい内容です。サービス事業所との連携場面でも役に立ちます！ 		
日程	時間	会場
平成30年 4月24日(火)	14：00-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 本研修ではケアマネジメント業務におけるリスク対策ではなく、サービス提供中の事故から利用者を守るためのケアマネジャーの役割について学びます。居宅サービスだけでなく、ショートステイやデイサービスでのサービス提供上の事故を防止するためには、ケアマネジャーの積極的な関与が欠かせません。ケアマネジャーのあなたが、在宅サービス事業者の事故防止活動や転倒や誤えんなどの防止対策を知ることにより、安全で安心なサービス提供を実現します。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 介護のリスクマネジメントの基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> *リスクマネジメントという事故防止の手法とは？ *全ての事故は防げない（防ぐべき事故とは？） *過失のある事故とは？ *事故、ヒヤリハットの評価 訪問介護のリスクマネジメント <ul style="list-style-type: none"> *居宅の環境リスクから発生する事故への対策 *利用者の個別リスク評価不足から発生する事故 *安全な介護の基本手順を怠ったために発生する事故 *制度やケアプランが原因で発生する事故 デイサービス、ショートステイのリスクマネジメント 		
講師		
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏		

地域包括ケアシステムを学ぶ

コース名 ケアマネジャースキルアップ		
好印象を与えるカイゴ・ビジネスマン ～今さら聞けない!? 知っておきたい振る舞い方～		
対象 ・ケアマネジャー ・相談員、サービス提供責任者など、介護業界以外の人とのやりとりがある方も可		
★ <ul style="list-style-type: none"> ・演習があります。名刺と名刺入れを持参ください。 ・知っておくと差がつかます！職員一人ひとりもご利用者やご家族から選ばれる時代に… 		
日程 平成30年 11月22日（木）	時間 9：00-12：30	会場 練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい ・介護業界以外の人とのやりとりに焦点をあて、利用者や一般社会人としてのご家族に対して、好印象を与えるビジネスマンとしての振る舞いを学びます。		
内容 ・介護支援専門員実務研修における「備えるべきマナー」はこんなことを言っている ・いまさら聞けないビジネスマナー「基礎を理解しカイゴビジネスマンの印象を上げる」 *大人のための正しい敬語の使い方「現場でよく使う言葉を言い換えてみよう」 *名刺の渡し方（初回訪問・担当者会議・退院前カンファレンスなど） *席順（ソファ・椅子の形状・案内するときなど） *テーブルマナー（蓋つきのお茶など） *お亡くなりになった（電話対応・お悔やみの言葉・葬儀のマナーなど）		
講師 株式会社 チームウェル 代表取締役 遠藤 恵子 氏		



介護業界全体に言えることだと思いますが、社会人としての基本の接遇が身につけていないといわれることが多く、いわゆる一般企業に勤めている家族などからすると、逆に不思議に感じられることもあるようです。この研修をきっかけにカイゴ・ビジネスマンとしての日頃の振る舞いやビジネスマナーを見直しませんか？あなたもご利用者やご家族から選ばれる職員に・・・。

地域包括ケアシステムを学ぶ

コース名 医療と介護の連携			
コーディネート能力向上研修 基礎編 ～ケアマネジャーの強みを再確認し、専門職としての自分に自信をもつ～			【全4回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・新任から中堅のケアマネジャー ・連続4回の研修に参加できる方 			
<p>★ ・居宅介護支援事業所のケアマネジャーである遠藤講師のお話は、「大変わかりやすい!」と好評です。たくさんさんのエールをもらいながら自分自身を振り返り、イキイキとケアマネジャーの仕事を楽しめますか?</p>			
ねらい			
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーとしての専門職である自分に自信を持ち、医療との連携に必要なコーディネート能力を高めます。 ・自分自身と向き合い、客観視しながら何が苦手なのかを知ります。 ・ケアマネジャーとしての強みを再確認し、活かす方法を理解します。 ・伝える、説明するなどのコミュニケーション力を磨くためのヒントを会得します。 			
日程	時間	各回のねらい・内容	
平成30年 7月19日(木)	9:00 -12:30	第1回	<p>「模擬退院時カンファレンス ～ファシリテーション技術を学ぶ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師はカンファレンスで何を求めているのか? 看護師は? ・そしてケアマネは? ・ファシリテーション力を磨く ・模擬カンファレンス
平成30年 8月23日(木)	9:00 -12:30	第2回	<p>「自分自身を知る、ケアマネジャーの強みは?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り ・自分自身を知る ・怒りを感じたり自分自身が陥る傾向を知る ・「詳細?ざっくり?」どんなかたまりで話をするのか? ・それはあなたの強みです
平成30年 9月20日(木)	9:00 -12:30	第3回	<p>「人に伝える、説明するスキル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り ・自分自身の伝え方、タイプをアサーションから見る ・言いにくいことをスマートに伝えるDESC法 ・なぜ、結論から先に伝えなければならないのか? ・CREC法・「やってみよう」
平成30年 10月18日(木)	9:00 -12:30	第4回	<p>「自分自身の事例から振り返る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの振り返り ・しっかり伝えよう!! ・これまでをみんなで振り返る「ブレイントラスト」 ・なぜ結論から先に伝えなければならないか!? ・まとめ
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
株式会社 チームウェル 代表取締役 遠藤 恵子 氏			



地域包括ケアシステムを学ぶ

コース名 医療と介護の連携		
医療職と円滑に会話をするために ～コーディネーターとしての意志決定支援力、合意形成力を磨く～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャー、相談員など 		
<p>★ ・専門知識や技術の習得も必要ですが、支援者としての必要な基本的なスキルをさらに磨きませんか？</p>		
日程	時間	会場
平成31年 1月24日(木)	9:30-12:30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーは直接介護をする立場ではなくコーディネーターです。そのため、関係調整力や合意形成力が求められます。ケアマネジャーがこの力を発揮する事で、医療と介護の連携は進んでいきます。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 医療コーディネーションの基礎 医療対話の手法のロールプレイ 医療チームに交渉を仕掛ける 医療連携の問題を把握する 医療職との情報共有に必要な項目 誰もができる意思決定支援 		
講師		
一般社団法人 日本医療コーディネーター協会 理事 東京大学大学院医学系研究科医療安全管理学 特任助教 水木 麻衣子 氏		

コース名 医療と介護の連携		
地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション ～生活行為向上マネジメント～		【全2回の連続研修】
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 連続2回の研修に参加できる方 ケアマネジャー、機能訓練指導員、通所サービスにおいてプラン作成に関わる方など 		
<p>★ ・平成30年度の介護保険制度改正においても、生活行為向上マネジメントは重要視されています！この機会に学びませんか？</p>		
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 生活行為とはその人が生きていく上で意味のある作業です。しかし、私たちが関わっている高齢者の多くは、何らかの原因で重要な作業を失ってしまいます。 “介護される人”から“主体的な生活をする人”に変化し、「やりたい」「したい」と思っている生活行為が実現できればその方の生活範囲は広がり、真のニーズに繋がっていきます。 		
日程	時間	各回のねらい・内容
平成30年 10月16日(火)	9:30 -12:30	第1回 「利用者の生活範囲を広げるために」 <ul style="list-style-type: none"> これから求められる地域リハ・国際生活機能分類(ICF)へ 生活行為向上マネジメントとは・性格行為向上リハのプロセスと手法 作業療法士と福祉介護職が立案したプランの違い 役割を失うことは生きがいを失うこと・動作ではなく生活をみる
平成30年 11月21日(水)	9:30 -12:30	第2回 「アセスメントとプラン立案を中心に」 <ul style="list-style-type: none"> 生活行為の聞き取り演習・アセスメント演習 プラン立案演習・利用者のやる気を引き出すコツ
会場		
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2		
講師		
目白大学保健医療学部作業療法士学科 准教授 作業療法士 博士(作業療法学) 小林 幸治 氏		

地域包括ケアシステムを学ぶ

コース名 認知症ケアを磨く		
介護者の語りから学ぶ ～ケア担当者に伝えたい家族の気持ち～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症のある人へのケアを深めたい方 ・職種やサービス種別は不問 		
★ ・認知症のある人をケアするご家族の立場からのお話は、多くの気づきを得ることができます。		
日程	時間	会場
平成30年 9月14日(金)	9:30-12:30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、ご家族、ケアを担当する職員それぞれの立場や役割の違いを理解して、本人のより良い生活の実現のためのチームづくりのヒントを得る。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・講義 <ul style="list-style-type: none"> *ご本人、ご家族、職員それぞれの立場や役割の違い *家族ゆえの感情とゆらぎ *ケア担当者をお願いしたいこと ・グループワーク <ul style="list-style-type: none"> 「困難を感じるご家族対応の場面とコミュニケーションの工夫」 ・グループ発表と研修のまとめ 		
講師		
ブーケの会（練馬認知症の人と家族の会）世話人 小泉 晴子 氏		

こんなことはありませんか？



認知症のある人をケアするご家族の立場からのお話を聞き、多くの気づきを得ることができます。家族対応で悩んでいたたり難しいと感じている方におすすめです。

地域包括ケアシステムを学ぶ

コース名 認知症ケアを磨く		
介護サービス事業所における若年性認知症の人への支援力向上のポイント		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 職種やサービス種別は不問 (若年性認知症の人への支援をしているケアマネジャーや介護サービス事業所の方など) 		
★ ・林田講師のお話は、支援者として必要な基本姿勢や感性について、改めて学ぶことができます！		
日程	時間	会場
平成30年 7月13日(金)	9:30-12:30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 近年増加傾向にあると思われる若年性認知症について知る。 若年性認知症の方について、その方を取り巻く環境について知る。 若年性認知症の方の直接的な支援的方法を知る。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 若年性認知症状態にある方への理解 若年性認知症状態にある方への支援の方法 若年性認知症状態にある方とご家族へのチームアプローチ 		
講師		
NPO法人ミニケアホームきみさんち 理事長 林田 俊弘 氏		

若年性認知症の人を受け入れていきたいけれど、高齢のご利用者と同じサービスという訳には・・・
どのように対応したらよいか
わからない・・・
(デイサービスA)



若年性認知症の人が利用できる介護サービスがなかなかなくて困っている・・・
(Bケアマネジャー)



林田俊弘氏を講師に迎え、若年性認知症の人について知り、今ある介護サービス事業者でどのような工夫をすれば支援ができるか考えます。

地域包括ケアシステムを学ぶ

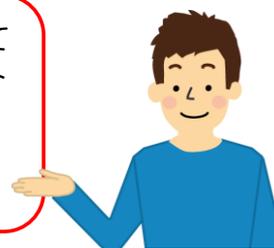
コース名 認知症ケアを磨く		新任研修にようこそ!
認知症の人の不安や混乱を安心に変えるケア ～認知症の人が体験している世界を知り、ケアに生かす～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 ・認知症のある人へのケアを深めていきたい方 		
<p>★ 認知症のある人へのケアを始めただけの新任職員の方にもおすすめです。また、漫然と行っていたケアと根拠となる部分が結びつき、ベテランの方も改めての気づきを得られ、基本に立ち返ることができます!</p>		
日程	時間	会場
平成31年 2月26日(火)	13:30-16:30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方の不安や混乱を安心に変え、失った自信を取り戻すことに視点をいたケアを学びます。 ・認知症の方は普段、どのような不安と混乱を抱えながら生活をしているのでしょうか、想像(イマジネーション)を膨らませて理解を深めていただきます。また、どんなことがきっかけで自信を失っていくのでしょうか、それも合わせて考えてみたいと思います。そのうえでどのようなケアを提供すれば良いのか、役割や社会関係の向上、身体的活動性の向上にもふれながら、皆さんと一緒に学びたいと思います。体験あり、話し合いあり、講義ありの研修です。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方の不安や混乱を想像してみます。不安を安心に変えるケアを学びます。 ・できることはしていることへ、自信を取り戻すケアを学びます。 ・「身体的活動性の向上」や「役割社会関係の向上」について学びます。 ・明日からできることを具体的に検討していきます。 		
講師		
株式会社PAO 代表取締役 グループホームPAO経堂代表 北田 信一 氏		

コース名 認知症ケアを磨く		【全2回の連続研修】
認知症ケアを助ける環境づくり 在宅編		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・連続2回の研修に参加できる方 ・在宅の介護サービスや住環境整備、小規模多機能などの地域密着型サービス、高齢者住宅などに関わる幅広い分野からの参加者を歓迎いたします。職種は問いません。 		
<p>★ 認知症の方の地域での暮らしを支えている方、医療や介護サービスからの視点からだけでなく、多くの時間を過ごす住まいの工夫の視点から認知症ケアを進めたい方におすすめです。</p>		
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・その人らしく地域で、自宅で暮らせる環境について理解し、実践していくことができるリーダーを目指します。 		
日程	時間	各回のねらい・内容
平成30年 10月10日(水)	13:30 -16:30	第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアにおける認知症高齢者の住まいの役割 ・認知症高齢者の住生活の困難と住まいの工夫の実践、その効果(全国調査から) ・住環境の視点から見た認知症高齢者のとらえ方 ・認知症高齢者環境支援指針(PEAP)に基づく住まいの工夫(講義と演習)
平成30年 11月13日(火)	13:30 -16:30	第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介と暮らしと住まいのアセスメント(講義と演習) ・事例を通じて、暮らしを支える住まいの工夫を考えてみよう(グループワーク) ・グループごとの発表と1回目に学んだPEAPの視点から評価 ・実際に行われた取り組みの紹介とまとめ
会場		
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2		
講師		
ケアと環境研究会 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 大島 千帆 氏 日本社会事業大学 名誉教授 児玉 桂子 氏		

キャリアアップ

コース名 キャリアアップ			
ケアマネジャー受験対策講座			【全3回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> この講座を初めて受講される方 連続3回のすべての講座に参加でき、合否結果を報告していただける方 平成30年度介護支援専門員実務研修受講試験を受験予定の方 			
<p>★ ・一人で勉強することが不安な方、勉強方法がわからない方、効率よく、受験対策を行いたい方におすすめです！</p>			
日程	時間	ねらい・内容	
平成30年 6月26日（火）	9：30 -17：00	第1回	「直前対策講座・介護支援分野編」 <ul style="list-style-type: none"> 試験の解答方法、時間配分、合格ラインを知る 合格ラインを超えるための効率の良い独学方法を知る 出題可能性の高い「法改正」「報酬改定」「基準見直し」を理解する 介護保険制度の現状と将来像、試験で問われる制度手続き 介護保険制度下で期待される介護支援専門員の役割・機能 介護支援専門員の役割・機能を果たすために必要な知識と見識
平成30年 7月26日（木）	9：30 -17：00	第2回	「直前対策講座・保健医療福祉編」 <ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員の行うケアマネジメント出題例と解法 高齢者保健医療福祉の基礎知識等に関する出題例と解法 法改正等のうち、出題可能性が高い「現場での実務的知識と適切な対応」
平成30年 9月4日（火）	9：30 -17：00	第3回	「模擬試験・解説講義」 <ul style="list-style-type: none"> 講師作成の予想問題を受験し、時間配分、解答ベース、解答方法を確認する 苦手分野やミスし易い出題形式を知り克服方法を確認する
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
高齢社会権利擁護研究所 所長 野島 正典 氏			

- 「練馬区内介護サービスの質の向上のために、有資格者が増えてほしい」という意図で、受験対策講座が無料で受講でき、テキストも無料進呈したうえでコースを設定しています。
「練馬区のために！」「絶対に1回で受かる！」というモチベーションの高い方の受講をお待ちしております。



キャリアアップ

コース名 キャリアアップ			
介護福祉士受験対策講座			【全4回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> この講座を初めて受講される方 連続4回すべての講座に参加でき、合否結果を報告していただける方 実務者研修を終了、または終了予定の方で、平成30年度介護福祉士国家試験(筆記)を受験予定の方 			
<p>★ 一人で勉強することが不安な方、勉強方法がわからない方、効率よく、受験対策を行いたい方におすすめです！</p>			
日程	時間	ねらい・内容	
平成30年 7月26日(木)	18:30- 20:30	第1回	「講座説明会」 ・出題傾向、解答方法、合格ラインを知る ・合格するための「効率の良い独学方法」と「理解のポイント」を知る
平成30年 10月2日(火)	9:30 -17:00	第2回	「直前対策講座・前編」 ・試験の構成と出題傾向、受験学習への取りかかり方を知る ・何から勉強を始めるのかが効率的か、複数回受験で「何故合格できないか」を解説
平成30年 11月6日(火)	9:30 -17:00	第3回	「直前対策講座・後編」 ・出題傾向を再確認知る ・直前までの学習時間の効率的な作り方と「ヒッカケ問題」「暗記問題」を整理する ・内容の解説、要点(ポイント)の理解
平成30年 12月4日(火)	9:30 -17:00	第4回	「模擬試験・解説」 ・時間配分、解答ペース ・解答方法を確認する ・苦手分野やミスしやすい出題形式を知り克服方法を確認する
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
高齢社会権利擁護研究所 所長 野島 正典 氏			

「仕事が忙しくて、勉強する時間がなかなか取れない、どのように勉強すればよいかわからない・・・。」

そんな方にはオススメです！

講師からのきめ細やかなアドバイスにより、効率的な学習方法や出題傾向を知ることができます。合格に向けて前進しましょう！

職場定着への支援・多様な人材の活用

コース名 職場定着への支援		
練馬カイゴサポート塾		【全2回の連続研修】
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・介護業界新規入職者から、おおむね3年以内に介護の仕事を開始された方 ・新たな職場に移ったことで、自分自身を振り返ったり見つめなおしたい方、視野を広げたり、事業所以外の仲間づくりをしたい方 ・第1回、第2回両日の研修に参加できる方 		
<p>★ ・今の職場でイキイキと介護の仕事を継続できるようにサポートします。研修参加者は初心を振り返ることでカイゴの仕事の魅力を再発見することができ、研修に職員を派遣したリーダーや管理者は、参加者の職場への定着を期待することができるなど、双方にとってメリットがある研修です。</p>		
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区を単位として、職場への定着をサポートします。 ・同じような悩みや不安を抱える他の受講生（事業所外）との仲間づくり、同期の絆を推奨します。 ・練馬Newリーダー養成塾卒業生有志や練馬区内介護サービス事業所で働く職員などで構成されるファシリテーターと出会い、相談できる人をつくります。 		
日程	時間	ねらい・内容
平成30年 7月17日（火）	13：30 -17：00	第1回 「仲間と共に立ち止まってみよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ・介護業界に新規入職してから、または新たな職場に移ってからこれまでを振り返り、研修受講生や先輩であるファシリテーターとの間で、何でも話せる仲間や同期の絆をつくります。 ・受講生やファシリテーターと悩みや不安などを共有、共感しあい、エールをもらって、次回研修までの目標を設定します。 *初心を思い出す *今日までを振り返る *3ヵ月後の私の目標
平成30年 10月23日（火）	13：30 -17：00	第2回 「これからの私は？目指す姿」 <ul style="list-style-type: none"> ・前回研修からの変化を感じ、他の受講生と共有しながら、1～2年後にどのような職員になっていきたいかを考えます。 *前回の研修から今日までを振り返る *経験を積んで得たこと、乗り越えたこと *1年後の私の姿
会場		
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2		
ファシリテーター		
練馬Newリーダー養成塾の卒業生有志、練馬区内介護サービス事業所の従事者 練馬介護人材育成・研修センター職員		

昨年の研修の様子

【休憩中の様子】

和やかに談笑し、連絡先の交換なども行われていました。他事業所との交流、仲間づくりが進んでいる様子でした。



【グループワークの様子】

研修ではおもに自分を見つめなおす内容のグループワークを行い、受講生の思いを共有しながら意見交換が行われました。介護業界の先輩職員であるファシリテーターや他の受講生より助言をもらいながら、第1回目の研修では各受講生が3ヵ月後の目標を設定しました。



【メッセージカードの交換】

受講生とファシリテーターよりメッセージカードを受け取りました。励ましや共感の言葉を嬉しそうに読んでいる姿が見受けられました。



職場定着への支援・多様な人材の活用

コース名 多様な人材の活用		
外国人介護職員の活用！ 制度や事例を知って考える（仮）		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 外国人介護職員の受入れについての制度や状況を知りたい施設、事業所の管理者など 		
★		
日程	時間	会場
調整中		練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 練馬区と連携して実施する研修です。外国人介護職員の増加が見込まれるため、情報提をします。 外国人介護職員の受入れにあたって制度や現在の状況を知り、検討するためのきっかけとします。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 外国人の介護人材を受け入れる4つの類型について <ul style="list-style-type: none"> *介護職種の技能実習生 *介護の在留資格者 *EPAによる介護福祉士候補者 *永住者や定住者 外国人介護職員を実際に受け入れている施設からの事例紹介 意見交換 		
講師		
調整中		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！援助職の基本スキル		
介護の仕事の心構え ～プロ意識・チームワーク・マナーを守る～		
対象 ・職種やサービス種別は不問 ・新任職員 ・介護の仕事の心構えなどを再確認したい方 ・「感染症・食中毒の予防、蔓延防止」と同日の開催です。各科目ごとでお申し込みください。同じ研修を4月と11月に実施します。 ・新任職員や社会人としての心構えを再認識したい方におすすめです。		
★		
日程	時間	会場
平成30年 4月11日（水）	13：00-16：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
平成30年 11月14日（水）	13：00-16：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい ・介護職員として働く上で大切なポイントや必要な心構えを学びます。		
内容 ・プロ意識を持って働く ・チームワークを大切にする ・ホスピタリティ ・高感度の高い声かけの仕方 ・マナーを守る（利用者様に不快な思いをさせないための表情や語調、挨拶、身だしなみ、言葉づかい等、ご家族に安心して介護を任せいただくために必要な作法）		
講師 HOTシステム代表 介護人材育成コンサルタント 蜂谷 英津子 氏		

年に2回、繰り返し実施している研修です。新たに入職した職員や事業所内で伝達研修をする方にもお勧めです！！



介護職員として働く上で大切なポイントである「プロ意識を持ってはたらく」「介護の仕事になぜマナーが必要か」「チームワーク」「好感度の高い声掛けの方法」などを通じて、介護職員として必要な心構えを学びます。

「身だしなみとおしゃれ」「親しみとなれなれしさ」など境界線が難しいことをグループワークを行うことで気づく事ができます。また、介護現場を想定した言葉使いの講義はわかりやすく、実践に活かされます。

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！ 援助職の基本スキル		
感染症・食中毒の予防、蔓延防止 		
対象 ・職種やサービス種別は不問 ・新任職員 ・介護現場で起こる感染症や食中毒について学びたい方		
★ 「介護の仕事の心構え」と同日の開催です。各科目ごとでお申し込みください。同じ研修を4月と11月に実施します。 ・新任職員や介護現場で起こる感染症や食中毒について改めて学びたい方におすすめです。		
日程	時間	会場
平成30年 4月11日（水）	9：30-12：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
平成30年 11月14日（水）	9：30-12：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい ・高齢者施設における感染症予防はなぜ必要なのでしょうか？高齢者施設で働く私たちが、お客様、そして自分たち自身を感染症から守る知識を学びます。		
内容 ・高齢者施設における感染症予防の必要性を理解する ・感染症とは何かを知り、感染症予防の基礎である標準予防策を理解する ・高齢者施設で問題となりやすい感染症（感染性胃腸炎、インフルエンザ疥癬等）について学ぶ ・標準予防策に必要な物品の使用法、感染性胃腸炎を視野に入れた吐物の処理の方法などを演習を通して学ぶ		
講師		
平成30年 4月11日（水）	田柄特別養護老人ホーム 看護係長 米村 順子	
平成30年 11月14日（水）	大泉特別養護老人ホーム 看護係長 山田 晶子	



高齢者施設における感染症予防はなぜ必要なのでしょうか？標準予防策に必要な物品や使用方法、感染症を視野に入れた嘔吐物の処理手順を実演します。

また、ご利用者や高齢者施設で働く私たちが感染症から守る知識を、演習を交えながら学ぶことができます。



スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！援助職の基本スキル		
知っておきたい医療知識 ～こんな症状があったら？～ 		
対象 <ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 ・医療知識の基礎を学びたい方 		
★ ・同じ研修を4月と11月に実施します。 ・新任職員や医療知識の基礎や医療との連携について改めて学びたい方におすすめです。		
日程	時間	会場
平成30年 4月17日（火）	9：30-12：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
平成30年 11月20日（火）	9：30-12：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・加齢にともなう変化と高齢者の疾病の症状と病態を知ります。 		
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・症状別に考えられる疾病の説明 転びやすい、手足が動かない、下痢・便秘がある、めまいがする、咳や痰がでる、食欲がない、心臓がドキドキする、息が苦しい、熱がある、胸が痛む、吐き気がする、お腹が痛い、など ・チームケアでの各職種の役割について ・医療ニーズを見逃さないケアについて 		
講師		
平成30年 4月17日（火）	富士見台特別養護老人ホーム 看護係長 工藤 加寿子	
平成30年 11月20日（火）	大泉特別養護老人ホーム 看護係長 山田 晶子	

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！援助職の基本スキル		
介護現場の接遇 ～援助技術としての接遇マナー向上のために～ 		
対象 <ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 ・新任職員、利用者様への接し方を学びたい方、介護現場での接遇を見直したい方 		
★ ・同じ研修を5月と1月に実施します。		
日程	時間	会場
平成30年 5月24日（木）	9：30-12：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
平成31年 1月22日（火）	13：30-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・介護および福祉の仕事に従事する職員に求められる接遇マナーについて考える。 ・人権尊重への特段の配慮の必要性を認識し、所属している施設や事業所と自分自身の接遇マナーの課題を確認する。 ・援助技術としての接遇マナーのスキルアップを図り、他の職員の模範になる。 		
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、接遇が大切か ・お客様の満足とは ・接遇マナーの5原則 ・介護・福祉サービスの独自性 ・援助技術としての接遇マナー 		
講師		
練馬区社会福祉事業団 サービス向上担当課 課長 練馬介護人材育成・研修センター 所長 河野 敦子		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！援助職の基本スキル		
コンプライアンス研修 ～事例から学ぶ！指導監査と個人情報保護～ 		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 職種やサービス種別は不問 		
<ul style="list-style-type: none"> ★ 新任職員や個人情報保護などの基礎知識を改めて見直したいにお勧めです。年に1回は振り返る機会を作りませんか？ 		
日程	時間	会場
調整中		練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
内容		
調整中		
講師		
練馬区高齢施策担当部介護保険課事業者指導係		

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！援助職の基本スキル		
コンプライアンスをやさしく学ぶ 施設・通所編 ～職業倫理と法令遵守、人権とプライバシー保護～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 入所系、通所系サービスに勤務されている方 介護職、看護職、相談員など職種不問 		
<ul style="list-style-type: none"> ★ 受講前に事前アンケートがあります。実施できる方の受講をお願いします。 コンプライアンスは繰り返し学ぶことが大切です。日頃の自分自身の振る舞いなどを振り返ることができるよい機会となります！ 		
日程	時間	会場
平成30年 7月10日（火）	13：00-17：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 私達は日頃は空気のように意識していないのですが、実は多くの法律によって守られ、社会の中で安心な生活を送っています。もし、自分の権利が侵害されたなら、その回復を強く訴えていくことでしょ。しかし、皆さんがサービス提供している利用者は、自分の権利を自身で守っていくことが難しい方達です。その為、皆さんには、強い職業倫理と法令遵守を意識化することが社会から求められています。日々の実践に求められるこれらの原則について確認し、自信をもって仕事ができるようになります。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 福祉現場で働く職員に求められる職業倫理の意味と内容を理解します。 日本国民に保障されている基本的人権について確認し、「個人の尊厳」「プライバシー保護」「虐待防止」「リスクマネジメント」などケア原則との関係で具体的に検討します。また、自分の日常業務を振り返ります。 介護保険サービス従事者として知っておくべき法令について学び、ケア提供の根拠となっている法令上の重要項目を具体的事例から理解します。 学んだ事柄について、ケア現場での課題を整理します。 		
講師		
ケアと環境研究会 研究員 鈴木 みな子 氏		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！ 援助職の基本スキル		
コンプライアンスをやさしく学ぶ 在宅介護編 ～職業倫理と法令遵守、人権とプライバシー保護～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー、サービス提供責任者など職種不問 ・在宅系サービスに関わる方 		
<p>★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前に事前アンケートがあります。実施できる方の受講をお願いします。 ・コンプライアンスは繰り返し学ぶことが大切です。日頃の自分自身の振る舞いなどを振り返ることができる、よい機会となります！ 		
日程	時間	会場
平成30年 8月28日（火）	13：00-17：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<p>・私達は日頃は空気のように意識していないのですが、実は多くの法律によって守られ、社会の中で安心な生活を送っています。もし、自分の権利が侵害されたなら、その回復を強く訴えていくことでしょ。しかし、皆さんがサービス提供している利用者は、自分の権利を自身で守っていくことが難しい方達です。その為、皆さんには、強い職業倫理と法令遵守を意識化することが社会から求められています。日々の実践に求められるこれらの原則について確認し、自信をもって仕事ができるようになりましょう。</p>		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場で働く職員に求められる職業倫理の意味と内容を理解します。 ・日本国民に保障されている基本的人権について確認し、「個人の尊厳」「プライバシー保護」「虐待防止」「リスクマネジメント」などケア原則との関係で具体的に検討します。また、自分の日常業務を振り返ります。 ・介護保険サービス従事者として知っておくべき法令について学び、ケア提供の根拠となっている法令上の重要項目を具体的な事例から理解します。 ・学んだ事柄について、ケア現場での課題を整理します。 		
講師		
ケアと環境研究会 研究員 鈴木 みな子 氏		



「私たちは何を大切にしているのか」を確認しませんか。
仕事に対する価値を共有し、仕事を大切にする気持ちを育むことで、職員のやる気と自信が高まります。

仕事の大切さを知って
やりがいを持って働きたい！
自信を持ちたい！

コンプライアンスが
大切なのは知っているけど、
抽象的でわかりにくい

事業所でコンプライアンスの
研修をしたいけど難しそう...

■ 受講者の声 ■

- ・難しいテーマでしたが、一歩ずつ丁寧に事例を交えて説明があるのでわかりやすかったです。
- ・何を大切に仕事をするのか、なぜ大切なのかを理解することができた。
- ・「コンプライアンス」について事業所で話し合うポイントが分かった。

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！ 援助職の基本スキル		
誤えん事故の防止対策 ～誤えんリスクの軽減と発生時の対応～ 		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 ・新任職員 		
<p>★ ・新任職員にもおすすめです。食事介助中などケアをしている目の前で、いつ何が起こるかわかりません。知っておきたい内容が満載です！</p>		
日程	時間	会場
平成30年 4月17日（火）	13：30-16：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・誤えん事故はえん下・摂食機能の障害によって発生しやすくなります。しかし、認知症が重度の利用者は、認知力の低下によって安全な食べ方ができなくなり、誤えんのリスクが高くなります。また、向精神薬の服用によってえん下機能が低下して誤えんを起こす利用者が多いことも事実です。このように、誤えん事故は知られていない原因がたくさんありますし、対処を間違えば生命に関わる事故ですから、万全の防止対策が必要となるのです。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・誤えん事故の判例紹介 ・えん下機能の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> *えん下機能と共に重要な食塊形成 ・誤えん事故の発生原因 <ul style="list-style-type: none"> *えん下機能の低下 *不適切な食事姿勢 *不適切な食事形態（キザミ、ミジンは誤えんしやすい） ・誤えん事故の防止策 <ul style="list-style-type: none"> *えん下機能に障害がある利用者への対策 *認知症利用者への対策 *えん下機能障害のない人の誤えん事故防止対策 ・誤えん事故発生時の対処*全ての職員が適切なタッピングを施行できるか？ <ul style="list-style-type: none"> *誤えん性肺炎の回避策 ・誤えん死亡事故後の家族対応 <ul style="list-style-type: none"> *特殊な判例の検証（2009年名古屋地裁判例） 		
講師		
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏		

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！ 援助職の基本スキル		
事例から学ぶ！ 入所・通所施設におけるクレーム対応強化研修		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 ・入所系、通所系サービスに関わる方 		
<p>★ ・管理者や相談員以外の職員や事務職員などもクレーム対応する機会があると思います。適切な対応ができるようになりますか？</p>		
日程	時間	会場
平成30年 5月9日（水）	13：30-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・クレーム対応の基本スキルを確認し、事例を通して身につけます。 ・自事業所の足りない取り組みや対策を知り、リスクマネジメント体制のレベルを向上させます。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・クレーム対応の考え方：苦情処理とクレーム対応の違い ・クレーム対応の基本手順：クレーム申立者の気持ちを知る ・クレーム対応の実践（グループ討議） <ul style="list-style-type: none"> *ショートステイの皮膚剥離のクレーム *空港での荷物の紛失 *デイサービスでの補聴器の紛失 ・クレーム対応スキルの応用編（グループ討議） <ul style="list-style-type: none"> *プライドの高いデイサービス利用者のクレーム *入所利用者の傷を虐待だというクレーム *利用者の個人情報漏洩に関するクレーム 		
講師		
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！援助職の基本スキル		
認知症利用者のリスクマネジメント ～BPSDのリスクをあきらめていませんか？～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 ・認知症ケアに関わる方 		
★ ・認知症のある人へのケアを始めたばかりの新任職員の方にもおすすめです。リスクマネジメントの視点から、よりよりケアに結びつけることができます！		
日程	時間	会場
平成31年 1月21日（月）	14：00-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・足りない取り組みや対策を知り、施設・事業所の安全レベルを向上させます。 ・全職員の共通認識の下、リスクマネジメント体制を構築します。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの基礎知識 ・認知症利用者の事故の原因分析 ・認知症利用者の事故防止対策（転倒、誤えん、異食、行方不明、他害など） ・BPSD改善による事故防止対策例 ・事故発生時の対応 		
講師		
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏		

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！援助職の基本スキル		
ターミナルケアの理解と利用者や家族に対する精神的ケア		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種不問、入所系サービスに関わる方 ・その他、生活の場でのターミナルケア（看取り介護等）を学びたい方 		
★ ・鳥海講師の軽快なお話からは人の生や死に関して見つめ直すことができ、あっという間の3時間です。入所系サービスに関わる方以外の方にもおすすめです！		
日程	時間	会場
平成30年 5月15日（火）	13：30-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・本人および家族への十分な説明と合意をもとに、本人への直接的なケアや家族等への精神的支援を行うターミナルケア（看取り介護や終末期ケア等）について理解します。 ・ターミナルケアの実施にあたり、利用者や家族の不安への対応などの精神的ケアについて学びます。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場での看取りの実際 ・死生観 ・生老病死の肯定 ・死を隠さない施設運営の意味と死の準備教育 ・グループワークで現場の実践、課題の抽出 ・上記課題に関する質疑応答 		
講師		
NPO法人メイアイヘルプユー 事務局長 鳥海 房枝 氏		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 介護サービス情報公表に役立つ！ 援助職の基本スキル		
こんな時、どうする？ 非常災害時の対応！ ～支援者として地震に負けず、生き延びるために～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 		
<p>★ ・大地震などの災害のための準備を何もしていない方におすすめします。なぜ準備をしなければならないか、ゲームを通して考えることができます！</p>		
日程	時間	会場
調整中		練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区で想定される地震災害について学びます。 ・体験や体感を通して、地震災害時の中でも生き延びる知恵や技術を学びます。 ・災害時に「支援者として生き延びる」ということの意味を考えます。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区で想定される地震とは ・体験会 東日本大震災時の震度7の揺れを体験し、自助・共助の行動を考えます。地震発生に伴い液状化した道路やガレキの中を車イスで避難する行動を考えます。倒壊したブロック塀からの救出救護し、共助の行動を考えます。 ・グループワーク クロスロードゲーム 災害対応ゲームを通して、何をすべきか、自らの判断を通して行動を考えます。 		
講師		
練馬区 危機管理室 区民防災課 防災学習センター		

コース名 高齢者の暮らしを支える権利擁護		
実務に役立つ！ 成年後見制度		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー、生活相談員、サービス提供責任者、生活支援員など ・成年後見制度について基本的知識から理解したい方 ・後見制度手続きの流れや方法に自信がない方 		
<p>★ ・基本的知識から理解したい方、手続きの流れやその方法に自信がない方などにおすすめです。ほっとサポートねりまの講師が丁寧に教えてくださいます！</p>		
日程	時間	会場
平成30年 8月10日（金）	9：30-12：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の業務に活かすため、成年後見制度（法定後見制度、任意後見制度）についての基本的知識を身につけます。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方を法的に支援する「成年後見制度」について、制度の成り立ちや法定後見制度と任意後見制度の特徴、相違点、成年後見制度の現状、申立て方法等を学びます。 		
講師		
社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 権利擁護センター ほっとサポートねりま 専門員		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 高齢者の暮らしを支える権利擁護		
チームで取り組む介護施設の虐待防止 ～気になる接遇をそのままにして良いですか？～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 介護施設に勤務されている管理者、介護職リーダー、相談員、ケアマネジャーなど 		
<p>★ ・事業所や施設において、「虐待防止の取り組みってどんなことから始めればいいのか？」とお悩みの方におすすめです。</p>		
日程	時間	会場
平成30年 10月9日（火）	13：00-17：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 施設職員による虐待件数は毎年増加しています。人権擁護の職業倫理に基づく職場で、なぜ虐待が防げないのでしょうか？大きな事件の前提には日常の支援行為の中に虐待の芽が存在し、早期の気づきと対応が大切になります。職員が相互に気づいた利用者への不適切な対応をチームとして克服し改善するためには、どのような話し合いや行動が求められるのでしょうか。事例検討を行う中で受講者が知恵を出し合い、チームを変革する主体になれるよう自己成長を目指します。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 虐待の背景要因について、支援における権利擁護の視点、職員チームワークの問題解決力、困難な課題を持つ利用者への支援技術、労働環境、組織の虐待防止対策等との関連性から理解します。 虐待の芽に気づいた時の対応について、事例を上記の観点から分析し、対応策を検討します。 虐待につながる支援行為へのスーパービジョンを演習で学びます。 		
講師		
ケアと環境研究会 研究員 鈴木 みな子 氏		

「うちの施設は、ナイナイ！」はない？ ちょっとした接遇を見逃さないチーム

虐待で報道された施設は、管理者の知るところになるまで「うちの施設は、ナイナイ！」と思っていたのではないのでしょうか。人手不足の中、現場で働く職員は多かれ少なかれ、不安や不満、いらだち、焦燥感を抱え働いています。人手不足が虐待の要因とは言えませんが、人手不足により十分な教育や知識の付与、上司のサポートが行われにくい環境にあることは言えるでしょう。そういった状況を考えれば「うちの施設に虐待なんて絶対にナイナイ」と思うことはできないのではないのでしょうか。

新鮮な空気をいれたら、「〇〇さんに対する言葉のかけ方、少し荒っぽい？」「ため息つきながらイヤイヤ返事してる？」など、気になる接遇が見えてくるかもしれません。「気になる接遇」が見える職員を増やして、チームで利用者の「権利擁護」に敏感な職場の雰囲気を作り上げましょう。利用者の「権利擁護」に敏感な職場の雰囲気は「虐待」を許しません。

リーダーや管理者は常に現場にいるわけではありません。新鮮な空気を取り入れ、「気になる接遇」が見えるチーム作りをしませんか。

施設に新鮮な空気を入れませんか

また、職員や利用者間で概ね完結してしまいがちな施設サービスは、「これが当たり前」「普通」という思い込みや雰囲気があり、部外者が見れば気付くことができても、同じ施設や法人の職員から指摘することは難しい環境にあります。定期的に「権利擁護」「虐待防止」「コンプライアンス」などの研修を受け、施設や法人以外の一般的な視点を学び、リセットされた状態で施設を見てみると、何か違ったものが見えてくるかもしれません。



【受講者の声】

- ・小さなことから気付く大切さを職員に伝えたい。
- ・常に目にしていないために、気付くことができないことがあるとわかった。
- ・各職員に分かってもらえる伝達研修ができそう。



スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 今井塾！		
養護者による高齢者虐待の防止と対応（在宅サービス編）		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー、生活相談員、サービス提供責任者、生活支援員 など 		
<p>★ ・同じ研修を5月と10月に実施します。</p>		
日程	時間	会場
平成30年 5月18日（金）	9：00-12：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
平成30年 10月25日（木）	9：00-12：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の高齢者への権利擁護・虐待の対応方法を習得し、利用者に対するサービスの質向上を目指す。行政との協働における基本的な視点、行政の役割と事業者の役割について理解する。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の現状 ・虐待の要因と発見 ・虐待対応の基本姿勢 ・プライバシーの保護 ・高齢者虐待の定義 ・高齢者虐待防止法の理解 ・個人情報 ・成年後見制度の活用 		
講師		
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井 伸 氏		

コース名 今井塾！		
医療保険のしくみと後期高齢者医療制度		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー、生活相談員、サービス提供責任者、生活支援員 など 		
<p>★ 持ち物：電卓をご用意ください。</p>		
日程	時間	会場
平成30年 6月22日（金）	9：00-12：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の医療保険の仕組みと後期高齢者医療制度について理解する事で、利用者の経済的支援に活かします。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の医療制度の仕組み ・保険料 ・低所得者施策 ・医療扶助との関連 など 		
講師		
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井 伸 氏		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 今井塾！		
年金制度のしくみと高齢者の所得保障		
対象		
・ケアマネジャー、生活相談員、サービス提供責任者、生活支援員 など		
★		
日程	時間	会場
平成30年 8月29日（水）	9：00-12：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 年金制度の概要を理解することで、利用者支援に活かすことができるようになる 参加された皆さんの将来の所得保障の現実を理解し、高齢期の所得確保における予期的社会化を図ることができるようになる 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 人口構成の変化と社会保障の課題 年金制度（国民年金、厚生年金）の概要 老齢年金 障害年金 遺族年金 		
講師		
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井 伸 氏		

コース名 今井塾！		
生活保護制度と低所得者施策		【全2回の連続研修】
対象		
・ケアマネジャー、生活相談員、サービス提供責任者、生活支援員 など		
★ 持ち物：電卓をご用意ください。		
ねらい		
・介護保険サービス利用者へのソーシャルワークを実践するにあたり、低所得者への支援方法を学びます。		
日程	時間	内容
平成31年 1月17日（木）	9：00 -12：00	第1回
平成31年 2月14日（木）	9：00 -12：00	第2回
<ul style="list-style-type: none"> 貧困高齢者の実態 生活保護制度の仕組み 生活保護基準額 介護保険制度における低所得者施策 		
会場		
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2		
講師		
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井 伸 氏		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 快適な生活を支援する		
回想法を活かしたプログラム活動の展開		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 通所系、入所系サービスに勤務されている方、職種不問 		
<p>★ ・鈴木講師が所持されている、昔のなつかしい道具類を使いながら、事業所や施設で活用できるプログラムのヒントを得ることができます！</p>		
日程	時間	会場
平成30年 11月27日（火）	13：00-17：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設で働く多くの職員は日頃の利用者との会話の中で、「思い出を語る」ことが持つ効果を体験的に知っています。人生を振り返り意味や価値を見出していく作業を手助けすることは老年期の大切な支援であるとともに、認知症ケアにもいかせる手法です。 あらためて、回想法の効果や活用方法について学ぶことで、日常行っている「思い出話」を専門的な技術として利用者支援にいかすことを学びましょう。今回はグループワークのプログラムとしての回想法の活用を取り上げ、受講者が実際に体験することで理解を深めていきます。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 人生の晩年におけるメンタルケアの重要性を考えます。 回想法の特徴と支援効果について学びます。 グループワークの魅力を引き出すための支援技術について理解します。 回想法の展開方法を学び、演習体験により理解を深めます。 <ul style="list-style-type: none"> *レクリエーションにおける回想法の活用 *言葉カードを用いた回想法プログラム *道具を用いた回想法プログラム 回想法プログラムを展開する上での留意点をまとめます。 		
講師		
ケアと環境研究会 研究員 鈴木 みな子 氏		

効果を考えた意図的な支援を目指しませんか？ 回想法を取り入れ、グループダイナミクスを活用して、 共感し自信が生まれるレクリエーションを具体的に考えます。



受講者の声

昨年度受講者に大好評！



色々な題材ができそうで、
楽しみながらケアが
できそうです。

実際に様々な物を
手にとってグループワークが
できて理解が進んだ。

活動だけでなく、
アセスメントにも
使えると感じた。

レク作りのヒント、
支援技術向上に
役立った。

利用者間の会話の
活性化に使えると思った。

今まで漠然と回想法風の
レクをやっていたが、
プロセスや手法をきちんと
理解できてよかった。

メンコなど
懐かしい

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 快適な生活を支援する		
褥瘡に関する知識を高めよう！～スキンケア、ポジショニング、医療職との連携～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅サービスに関わるケアマネジャーや介護に携わる職員 入所サービスに勤務されている介護職、看護職、栄養士など 		
★ ・毎年、大人気の研修です！褥瘡について3時間の研修でコンパクトに学ぶことができます。		
日程	時間	会場
平成30年 7月23日（月）	13：30-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> 褥瘡はどんな人にできやすいのか？ なぜできるのか？ をわかりやすく説明します。 実際の写真や事例を通して理解を深め、すぐに活用できる知識や技術をお伝えします。 褥瘡などの創傷の状態の表現方法など、医療職との連携に活かせる知識もお伝えします。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 褥瘡とは <ul style="list-style-type: none"> *褥瘡発生のメカニズム *なぜできるのか どんな人にできるのか 褥瘡予防の基本（スキンケアに関する演習） 褥瘡の見方 ・褥瘡の治療 ポジショニングについての説明とデモンストレーション 医療職へどう伝えるか？（演習） 		
講師		
順天堂大学医学部附属練馬病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 貴田 寛子 氏		

コース名 快適な生活を支援する		
食事場面の姿勢／すぐに使えるシーティングの知識と技術		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> 介護職、看護職、栄養士、機能訓練指導員、福祉用具相談員など 職種やサービス種別は不問 		
★ ・受講者アンケートより、「事業所や施設全員で受講したほうがよい！」という声をたくさんいただきました。「資料が丁寧でわかりやすく、楽しい！」と評判の講師です！		
日程	時間	会場
平成31年 2月16日（土）	10：00-17：00	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
【食事場面の姿勢】 <ul style="list-style-type: none"> 咀嚼嚥下機能が発揮されやすい全身姿勢を理解する。 食事場面における、姿勢、動作、環境などをアセスメントすることができる。 現在ある椅子、車いすを使って食事場面の座位調整ができるようになる。 【すぐに使えるシーティングの知識と技術】 <ul style="list-style-type: none"> 正しい座位の重要性、不良座位のリスクを理解する。 生活行為を引き出す座位姿勢について学ぶ。 個別の座位をアセスメントできるようになる。 現在ある椅子や車いすを工夫して、座位調整をすることができる。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> 悪い姿勢で起きてくる健康被害と良い姿勢の条件について理解する（座学） 摂食嚥下の局所機能の理解と全身姿勢の与える影響について理解する（座学） 摂食嚥下のための姿勢調整の実際の様子を理解する（座学） 車いすの上で姿勢の崩れる原因を理解した上で、車椅子に修正を加えて姿勢を直してみる。（体験実習） 姿勢の良し悪しということについて、評価してみる。（体験実習） 		
講師		
理学療法士 介護支援専門員 大淵 哲也 氏		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 快適な生活を支援する		
拘縮予防・改善を実現するポジショニング		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 		
<p>★ ・拘縮の種類と原因を知れば、予防と改善はすぐに取り組むことができます。「クッションやタオルをなんとなく挟む」ケアから前進し、メカニズムを理解し、納得のケアを実践してみませんか？「丁寧でわかりやすい」と好評でした！</p>		
日程	時間	会場
平成30年 7月18日（水）	13：30-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・拘縮してしまうメカニズムを理解する。 ・拘縮を予防、改善する適切なポジショニングを理解する。 		
内容		
拘縮の種類と原因の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ拘縮は起こるのか ・拘縮の種類 拘縮の予防と改善の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり動かすことの重要性 ・正しいポジショニングとは 		
講師		
株式会社大起エンゼルヘルプ理学療法士 一般社団法人日本介護技術協会理事 田中 義行 氏		